

（転ばぬ先の杖）不動産業・建設業のカスハラ対策

数年前から「カスタマーハラスメント（カスハラ）」という言葉が急激にクローズアップされています。従業員の休職や退職の原因ともなり得るほか、企業の生産性の低下をもたらすことからカスハラは深刻な社会問題となっています。厚労省も、2022年2月25日に「厚労省カスハラマニュアル」を公表しました。カスハラは、一般的には小売業や飲食業などのBtoCが想定されがちですが、BtoBでもカスハラになりえますし、不動産・建設業界も無関係ではありません。カスハラ対策は従業員が個別に対応すべき問題ではなく、会社が組織として対応する労務問題と認識されてきていることから、会社として対応すべきカスハラ対応（かつては「悪質クレーマー」などといわれていました）の必要性と具体的内容について確認したいと思います。

◆講師紹介

札幌総合法律事務所 [パートナー弁護士]

弁護士 田代 耕平 (たしろ こうへい)



昭和51年生まれ。旭川市出身。法政大学法学部卒。東北大学法科大学院修了。平成19年弁護士登録。不動産トラブル・欠陥住宅訴訟、企業側の労働問題、悪質クレーマー対策、経営戦略法務（事業整理・再生、M&A）などの分野に注力。建設・不動産関係の取り扱い件数は多く業界の事情にも精通する。

◆主な講演・執筆

◆講演

官公庁、金融機関、各地商工会議所等の依頼講演多数。

◆メディア

- ・北海道新聞 「解決！働くトラブル」（平成25年度連載）
- ・北海道建設新聞 「建設業にまつわる法律」（平成27年度連載）
- ・北海道建設新聞 「弁護士田代耕平のひとりごと」（平成28年より連載中）

◆日時 第40回 令和7年2月18日（火）18時～19時半

◆場所 北海道立道民活動センター かでの2・7 730 研修室

◆対象 主に不動産業、建設業向けの内容となります

◆定員 55名程度（要申込）

◆申込方法 いずれかの方法にてお申し込み下さい

① F A X （参加申込書にご記入）

② Email 送信 seminar@sapporo-sogo-lo.com 标题を「2月18日・建設不動産セミナー」とし、必要事項（会社名・所在地・電話番号・参加者氏名・参加者数・代表者のメールアドレス）を記載

③ Google フォーム入力 <https://forms.gle/Wb4qvVTeLoQzFL1CA> （QRコード）

「札幌総合法律事務所」のホームページ上から上記リンク先にアクセスできます

主催 札幌総合法律事務所（弁護士：田代耕平）

後援 公益社団法人北海道宅地建物取引業協会 株式会社北海道建設新聞社





この用紙をFAXして下さい (FAX : 011-281-8458)

参加申込書

不動産業者・建設業者の法律セミナー (第40回)
『(転ばぬ先の杖) 不動産業・建設業のカスハラ対策』

令和7年2月18日 (火) 18:00~19:30

場所：北海道立道民活動センター かでの2・7 730研修室
(札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル)

※ **参加費無料**

弁護士 田代 耕平 (担当：馬場) 宛 FAX番号 011-281-8458

参加人数 () 名

事業所名			
所在地	〒 -		
TEL		FAX	
取りまとめ ご担当者	部署・お役職	お名前	

※ 記載いただきました個人情報は、主催者において実施する事業以外には使用いたしません。また、承諾なく第三者に提供することはございません。但し後援者による各種ご案内につきましてはご了承下さい。

【ご案内】

本講座は、隔月1回 (偶数月) に実施の予定です。各回の実施ごとにお申し込み下さい。受講票の発行はありません。定員超過により受付できない場合に限り、当方よりご連絡させていただきます。

【お問い合わせ】

札幌総合法律事務所 弁護士 田代 耕平 (担当：馬場)

TEL011-281-8448 FAX011-281-8458 E-MAIL seminar@sapporo-sogo-lo.com